



学校だより (4)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591

◇<http://www.hjschl.org>

◇e-mail info@hjschl.org

自分を抑えることについて

校長 福原 輝幸

現代の複雑な社会では、人間関係に神経を使い、自分を抑えなければならない時があります。

明治の文豪夏目漱石は、著「草枕」の冒頭に次のように謳っています。

「・・・智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎に角人の世は住みにくい」と。しかし「・・・人の世を創ったのは、神でもなければ鬼でもない。向こう三軒両隣の人。人が作った人の世が住みにくいといって、越す国はない。あれば人のいない国に行くばかり。人のいない国は、人の世よりも住みにくいであろう」と。

また、ある作家の話が心に残っています。

その作家は、毎日400字詰め原稿用紙3枚に原稿を書き、それ以上の枚数は書かなかったと言います。

風邪を引いても、心身の体調がすぐれなくとも、一日に3枚の原稿を書いていた。このことは、大変に貴重なことで努力を必要とします。

しかし、反対に、心身の調子がよくてどんなに興感がわいても、またどんなにイメージが膨らんでも、3枚を越えて書かないことの方が、自分を抑さえる努力は貴重であり、何倍も自分を抑さえる力のいることではないかと考えますが。

いかがでしょうか。

あなたが好き

あなたが好き
生きているから好き
笑っているから好き
くすぐったがりだから好き
くいしんぼうだから好き
寝ごとをいうから好き
わがままだから好き
私より大きいから好き
うそがへただから好き
爪がきれいだから好き
一生けんめいだから好き
愛してくれるから好き
愛しているから好き

(立原えりか)

< 行事の連絡 >

- 5/2 授業参観
 - 幼稚部 8:40～ 9:20
 - 小低部 10:10～10:50
 - 学級懇談会（さくら組は除く）
 - 幼稚部 9:25～10:05
 - 小低部 10:55～11:35
- 5/9 避難訓練（火災を想定）
 - 11:40～12:20
- 5/23 日本文化鑑賞会（琴模範演技）
 - 13:30～14:30 カフェテリア
- 5/30 6/6 6/13
 - 個別面談
- 5/30 中間テスト
- 6/13 海外子女文芸作品
 - コンクール締切
- 6/14 ～ 7/17 夏季休業
 - (6/20～7/13 事務所閉鎖)